

いのちの現場を訪ねて

インドネシアの牧会者が万民中央教会を訪問し、セミナー、礼拝、祈禱会に参加して聖霊のみわざを体験した。

光の実

キリストのうちにあるなら、誰でも暗やみから出て来て、光である神の子どもとして新しく生まれ、光の実を豊かに結ぶように。

「自信を取り戻しました！」

歯科治療が受けられなかったキム・シネ勲士は堂会長イ・ジェロク牧師のインプラント支援で新しい人生を送っている。

支教会7月スケジュール

「主は今生きておられる～」

ハンカチの祈りを受けて、失った左耳の聴力を取り戻した韓国のコ・ジェヒョン執事と固まった全身が回復したフィリピンのウィリー・ミラベノ執事の証し。

万民ニュース

第200号 2019. 6. 23.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「神様がともにおられる万民の働き、すばらしいです！」

インドネシアの牧会者120余人、万民中央教会訪問



今年5月4日から5日まで、インドネシアの牧会者120余人が本教会を訪問し、万民の働きをその目で見て体験し、生ける神に感謝と栄光を帰した。

最初の日程として5月4日(土)午後9時20分、第三聖殿で始まった牧会者セミナーは、芸能委員会所属のクリスタルシンガーズと芸術宣教団、パワーワシップチームのインドネシア語の賛美、韓国の舞踊、ワシップダンスなどで参加者に大きい恵みと感動をプレゼントした(写真2,6)。続いて堂会長イ・ジェロク牧師を通した神の力の働きと放送、文書宣教などを紹介したビデオを視聴した。

その後、講師イ・スジン牧師は「私たちの教会の

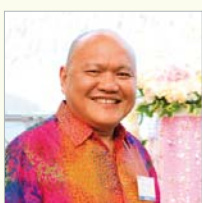
バイブルの秘訣は神の力あるわざ、火のような祈り、いのちのみことばにあります」と伝えた後、福音の核心「イエスが私たちの救い主である理由」について具体的に説明した(写真1)。セミナーの後、イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使19:11~12)で祈ったが、マルタ・デンデン牧師(チルンシ教会)は膝の退行性関節炎で歩行がつかつたが、祈りを受けた後、痛みがなくなって楽に歩けるようになった(写真3,4)。

5日には主日大礼拝と夕方礼拝に参加し(写真5)、約30人がインドネシアの伝統衣装バティックを着て特別賛美をささげ、聖徒たちに恵みと喜びをプレ

ゼントした(写真9)。アドリアン・サロインソン牧師(バツレヘム教会担任)は挨拶で「まるで天国に来ているようです。聖歌隊とニシ・オーケストラ、賛美とワーシップを通して聖霊に満たされました。とてもすばらしい教会を知ってうれしく、感謝しています」と述べた(写真7)。続いて総括引率者カトウツ・カラウワン牧師(バツレヘム教会)が堂会長イ・ジェロク牧師に贈呈する感謝の楯を教職者会長イ・スジン牧師に手渡した(写真8)。

この他にもムアンの甘い水水族館の観覧、GCN放送訪問、ダニエル徹夜祈禱会出席などの日程を持った(写真10)。

「ただイエス・キリスト中心の教会でした！」



ポルク・デニー・コヨンジャン牧師 (アメリカ・クリストセンター教会)

今回の訪問で、万民中央教会は聖書に記されている神の力あるわざが現れる教会だということがわかりました。教会で奇跡が起こるといことは大きい祝福です。神様は万民中央教会を通して奇跡を行っておられ、私たちはこのようなみわざを見て幸せです。

私はここに来る前、万民中央教会についての悪い噂を聞きました。この教会は主イエス様ではなく人が中心だということです。しかし、この教会は神の力が現

れる教会であり、すべての説教者がイエス・キリストについて伝えていきます。堂会長イ・ジェロク牧師先生はただ信仰と祈りと断食によって生きていらっしゃることを確信しました。そして、いつも神様と主に栄光を帰しておられます。

私はここを訪問した証しをうちの教会の聖徒たちに伝えて、より大きい信仰を持てるようにしたいと思います。多くの人が万民中央教会を訪問して、聖霊が人々に触れるためにどう働いておられるかを知ったらよいと思います。ここに来れば祝福されます。私たちが温かく迎えてくださった万民中央教会に心より感謝します。

2019年子ども主日記念礼拝

今年5月5日午後1時30分、GCN放送とインターネットで全世界に生放送される中で、第二聖殿で教会学校子ども主日記念礼拝をささげた。講師イ・ミヨン牧師(3大大教区長)は「万民の誇り」(コリ11:1)というタイトルで「神様を愛して誠実に生きて、天国への希望をもって走って行くように」と勧めた。



「神は光であって」シリーズ7

光の実

「あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあって、
光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。——光の結ぶ実は、
あらゆる善意と正義と真実なのです——」
(エペソ5:8~9)

“

喜びと感謝をもって暗やみのわざを明るみに出して光の中
に出て来、真理の中を歩むことで光の実を豊かに結び、
神に喜ばれるように。

”

堂会長イ・ジェロク牧師

天地万物を創造してご自身のかたちに人を造られた神は、すべてのものを美しく変えさせる力を持っておられる。無秩序と混沌を井然とするよう変えて、死の道に向かっていた人にはいのちを吹き込み、争いがある所には平和を与えてくださる。それで、イエス・キリストに出会った人々は以前とは違う真理の心、美しく良い心を持つようになり、幸せで健康な生き方をするようになる。

<IIコリント5:17>に「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」とあるとおり、キリストのうちがあれば、誰でも暗やみから出て来て、光である神の子どもとして新しく生まれることができる。神は光であるので、ご自身の子どもたちもまた、光の実を豊かに結ぶことを望んでおられる。

それでは、<エペソ5:9>に記されている光の実とは果たして何であり、どうすれば完全に結べるだろうか。

1. 光の実あらゆる「善意」と「正義」と「真実」

まず「善意」とは「良くて悪意のない美しい心」を言う。たとえば、世に生きていていろいろ困難な問題にぶつかったとき、自分の利益を求めのではなく、相手の利益を求めの。かわいそうな隣人や病気の人、貧しい人に善を行って、害を及ぼさない。親の恵みを知って親に従い、創造主なる神の愛を知って、そのみことばに聞き従う。それだけでなく、他人に礼儀に反することをしない心なので、自分が属

している社会の法規と秩序、他人との約束をよく守る。

この他にも、悪を行う人ゆえに不平を言わない心、自分を低くして人に仕える心、平和をつくって譲る心、欲がない心、自慢したり叫んだりしない心、真理を喜ぶ心などが「善意」に属する。

次に「正義」とは、一般に「人の道にかなって正しいこと。」を言う。しかし、真理にあつての正義とは、このような次元を超えて「神が約束されたみことばを信じること、みことばどおり聞き従うこと」を意味する。罪を捨てて聖書に記された戒めを完全に守っていくことと、すべての不義なことから自分をきよめること、いのちを尽くして忠実であることなどを言う。

この他にも、神のみこころに従ってその国と義を求めること、正しく節度ある行い、道理に背かないこと、正しいことについて意思を曲げないことなどが「正義」に属する。

最後に「真実」には三つの属性がある。すなわち「偽りがないこと、約束を守ること、どんな状況でも変わらない終始一貫した心」である。多くの人が約束をしていても守らなかったり、口から出したことを行わないのは、真実の実が実っていないからである。しかし、真実な人はどんな状況でも自分が約束したことを守って、一度定めた心が変わることがない。

それなら、皆さんは以前の行いが変わりはしなかっただろうか。神を愛する心や魂を愛する心は日が経つにつれてすぐれていき、伝道もより熱心にして、祈りもより火のようにしなければならない。悪はどんな悪でも避けて、完全な善の心につくって、さらに明る

い真理の光の中へと進まなければならないだろう。

私たちが真実で、良いこと、正しいことを変わらず行っていくと、神の祝福が臨む(ガラ6:9;ヘブ3:14)。また、善意と正義の実を完全に結ぶためにも、真実の実はどうしても必要である。

2. 主にあって光の子どもたちのように行うには

善意のある人は悪意がなくて美しく、いつも善を行う。物乞いする人にお金をあげたり、体の不自由な人の世話をし、他人がしたくないことを自ら進んでする。しかし、人がいくら善を行うとしても、その行いの目的や結果が善ではないなら、神の御目に善だとは言えない。

たとえば、他人のお金を盗もうとする人や怠けて放蕩している人に何かの助けを与えたとすれば、これは他の人にかえてより大きい被害を与えることもあるので、決して良い行いとは言えない。したがって、良い行いが光の実として現れるには、必ずその中に正義、すなわち、神の義がともになければならない。神の御目に何がまことであるのかをわきまえて、みことばに頼って行わなければならない、ということだ。

ところで、善意と正義だけでは完全になれないのが見られる。これは、その中に真実が欠けていれば、結局益にならないからである。

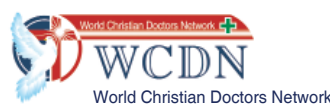
たとえば、水害が出た時に、放送局などのマスコミで被災者を助ける募金をする。すると多くの人が隣人を助けようとする心で参加するが、時々有名人や



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

企業主の中には、純粋な動機でなく、自分の名前を目立たせて自分の会社を知らせる目的で寄付したりもする。このような場合、人々はほめるかもしれないが、心を見る神がご覧になる時に真実が欠けているなら、光の実とは言えない。

したがって、主にあって光の子どもたちのように行って光の実を結ぶためには、神がご覧になっての善を行わなければならない。また、すべての善行は最後まで変わることがない真実があってこそまことであり、こうするとき、主にあって光の実を完全に結ぶことができる。

3. 主に喜ばれることが何か見分けなさい

〈エペソ5:10〉に「そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。」とあるが、これは光の実を結んで主に喜ばれなければならない、ということである。〈詩篇37:4〉に「【主】をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」とあり、私たちが光の実を結んで神をおのれの喜びとすれば、心の願いと求めに答えていただけるので、何の乏しいこともない幸いな生き方ができる。

使徒の働き10章に記されているコネリリオは、多くの人に施しをする善行と親切の実を結んでいた。すなわち、善意の実が結ばれていたのである。また、ユダヤ人でなく異邦人だったのに、神について聞いたとき、一家あげて神を恐れかしこんだということは、正義の実と言えよう。施しをして祈ることにおいても、神の御前に届くまで変わらずしたので、真実の実も結ばれていたのだ。

このようにコネリリオは光の実が美しく結ばれていたのに、神に喜ばれて、異邦人としては初めて、主の弟子であるペテロにバプテスマを受けて救われるという驚くべき祝福を受けた。

信仰の父アブラハムは生き方そのものが光の実で満たされていた。平和を追い求めておいの口に先に良い地を取るように譲るかと思えば、知らない間に御使いをもてなすほど、いつも他の人に仕える良い心がすぐれていた。また、自分の物ではないものはもちろん、糸一本でも、くつひも一本でも取ろうとしない、きよい心の持ち主だった。

このようにアブラハムは良い心だけでなく正しい行いで神に喜ばれた。神が「…あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。」(創12:1)と命じられると、どこに行くのかを知らなかったが、神のことばを完全に信じたので、そのまま従って離れる。また、現実的にはどうても不可能でも、神のことばならば疑いなく信じた。すなわち、自分も妻もすでにみごもれないほど老いていたが、神が天の数えられないほどの星を見せて「あなたの子孫はこのようになる。」と仰せられると、そのまま信じたのだ。これを神は彼の義と認められた(創15:5~6)。

人の思いではどうても信じられないことだが、神のことばなので信じるのがまことの信仰であり、現実を見ないでみことばを信じたこと自体が神の御目に正義になった。神へのアブラハムの信仰と行いはどんな状況でも変わらず揺るがなかったが、これがまさに真実に当たる。

百歳で得たひとり子を全焼のいけにえとしてささげなさいと言われたとき、つぶやくこともためらうこともなく、そのまま聞き従った(創22章)。だから、アブラハムがイサクを縛った後、刀を持ってまさにほふ

ろうとした瞬間、【主】の使いが現れて「あなたの手を、その子に下してはならない。…今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。」と言う。この時、アブラハムは神がイサクの代わりにあらかじめ雄羊を備えておかれたことを知っていたのではない。これはアブラハムの心がどれほど真実なのかをよく示してくれる場面である。

このようにアブラハムに善意と正義と真実の実が豊かに結ばれていたのに、神は彼を信仰の父として立て、神の友と称してくださったのだ。また、どこへ行こうがともに歩まれ、すべてのことに祝福を下さったので、乏しいことがないように満たして下さった。完全に光の中を歩むとき、光の実を結んで、私たちの毎日に神に喜ばれている証拠が確かに現れるようになるのだ。

4. 光の実を結ぶには明るみに出して光のほうに出て来てこそ

〈エペソ5:11~13〉に「実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出さなさい。なぜなら、彼らがひそかに行っていることは、口にすることも恥ずかしいことだからです。けれども、明るみに引き出されるものは、みな、光によって明らかにされます。」とある。

ここで言う「明るみに出す」とは、単に過ちを現す次元で終わるのではなく、光のほうに出て来るためにそうすることを意味する。光の実を結ぶためには、まず明るみに出して自分の暗やみを発見して捨て、光のほうに出て来る過程が必要である。

神が、罪を犯したダビデの罪を明るみに出して練ってダビデをさらに完全になさったように、愛する

人であるほど真理に反することを果敢に明るみに出して正し、光の中にとどまれるように導くことがまことの愛である。

したがって、光に入りたいと思うなら、明るみに出されることを嫌ってはならない。心から感謝して喜ぶべきであり、現された過ちはみなすみやかに立ち返って、光へと出て来なければならないのだ。

ここで私たちが注意しなければならないことは、明るみに出すものの、主にあってしなければならないという点である。いくら全く同じようにしても、そうする人の心がどうなのかによってその結果が変わり得る。感情的に過ちを現すことは光の実を結ぶどころか相手の心をさらに苦しめてつらくさせ、状況をさらに悪くするだけである。かえって敵である悪魔が働くので、争いを起こすようになるのだ。また、感情的になること自体がすでに神の御前にふさわしくない姿なので、自分にとっても何の益にもならない。

したがって、暗やみのわざを明るみに出すことは、愛するがゆえに、そうしてでも罪を捨てて光の中に出て来るように助ける、仕えの心でなければならない。

愛する聖徒の皆さん、

まことの愛は相手の過ちをただ覆うことだけではない。時には心が痛んでも過ちを明るみに出して正し、欠けていることは完全にさせることがまことの愛で、全き愛と言える。喜びと感謝をもってそれを認めて光の中に出て来て、ただみことばどおり行って光の実を結んで神に喜ばれるように、主の御名によって祈る。

**「コンプレックスがなくなって
使命を果たすにも自信があふれています」**

キム・シネ勸士(59歳、韓国3大大32教区)

私はまだ還暦にもなっていないのに、歯周炎のため歯がぐらぐらしていました。やむを得ず2年前には下の奥歯2本だけ残して全部抜きました。治療を続けるには1000万ウォン(約91万円)かかるのですが、家計にとって大きい負担なので、そのまま我慢するしかありませんでした。

まともに噛まずに飲み込むので消化もよくできなかったし、誰かと話をしたり一緒に食事したりする時も、度々手で口を隠さなければなりません。笑うと確かにおばあさんのようでした。特に地域長として訪問したり、集まりを導くとき、食事の集まりや伝道するとき、恥ずかしいことがとても多かったのです。

ところが、幸いなことに、堂会長イ・ジェロク牧師先生がお年寄りや暮らし向きが厳しい聖徒たちの歯科治療を支援し始められたのです。私にも機会が与えられて、2018年6月から治療を始めて、イン



プラント6本、クラウン5本ができました。

初日、インプラントを6本したのですが、麻酔が切れると痛みがありました。けれど、その日の夜、ダニエル徹夜祈禱会に参加した後、電話自動応答サービスで堂会長先生の「いやしの祈り」を受けてからは痛みがなくなって、とても安らかでした。あざが一つもできていないのを見て、若い時に苦労したことを神様が慰めてくださるようでした。

3か月で治療が完璧に終わりました。今はどんな物も食べられるし、主人と周りの人たちがとてもきれいで見た目がいいと言うので、とても幸せです。過去の萎縮した姿がなくなったので、地域長の使命も自信を持って最善を尽くして果たせるようになりました。ハレルヤ!

すべての乏しさを満たしてくださる愛の父なる神様、主に感謝し、物心両面で私たち聖徒に仕えてくださる堂会長先生にも感謝します。

7月支教会スケジュール					
7月7日(日)	東京万民教会	創立11周年記念礼拝(講師:柳スギル牧師)	7月28日(日)	名古屋万民教会	癒し集会(講師:時國みや子牧師)
7月15日(月・祝)	沖縄万民教会	創立6周年記念礼拝(講師:柳スギル牧師)			

「鼓膜がなくなった左耳から音が聞こえます！」

私は小さい時からよく聞こえませんでした。生まれて間もない時から両方の耳から膿が出ていたそうです。成長すると右耳はある程度聞こえても聴力は低かったし、左耳はほとんど聞こえなかったのですが、後になると全然聞こえなくなりました。

20歳の時、大病院で検査を受けたのですが、お医者さんは「左耳は慢性炎症のせいで鼓膜がなくなっています」と言いました。手術するには両耳しなければならぬが、まかり間違えば右耳まで聞こえなくなる可能性もあるから、そのままにしておけばいいと言うのです。40年前なので、今のように医学が発達していないからそう言ったようです。その後も耳から膿がよく出ていましたが、特に左耳からたくさん出ました。



2017年には鼻がよく詰まって、耳鼻咽喉科に行って耳も診てもらいました。お医者さんは、左耳の鼓膜がないが、今は医学が発達しているから手術をしようと薦めました。でも、私は1998年から万民教会で信仰生活をしていて、堂会長イ・ジェロク牧師先生のただ一度の祈りで細菌性のフケがいやされたし、視力も良くなる体験をした



コ・ジヒョン執事(61歳、韓国クアンジュ万民教会)

ので、神様にいやされようと決心しました。それで、礼拝のたびに信仰によって堂会長先生のいやしの祈りを受けたら、いつの頃からか膿は出なくなったのです。

けれど、左耳は相変わらず聞こえませんでした。職場で誰かが呼んでも聞こえなくて、業務を指示されてもよく理解できないからもう一度尋ねることが常で、周りはずっと私に気を遣わなければなりません。また、電話が来れば右耳

に当てて受けていましたが、聴力が正常以下で、いつもじれったい思いをしていました。



そのうち今年3月末、湖南地方会主催でイ・スジン牧師先生(イエス・キリスト連合聖潔会副総会長)を講師に「聖霊の満たしを求める祈禱会」があるという知らせを聞きました。この機会に必ずいやされて神様に栄光を帰したいと思うと、私の心は熱くなりました。

ついに4月15日、「聖霊の満たしを求める祈禱会」の時間に、堂会長先生に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使19:11~12)でイ・スジン先生が全体に祈ってくださったのですが、聖霊の火が臨んで全身が熱くなりました。左耳からはブーンという音が大きく聞こえ始めたのです。急いで手で右耳をふさいで聞いてみると、左耳から先生の祈りの声が聞こえるのです。ハレルヤ!

前は左耳が全然聞こえなかったのに、今は右耳をふさいでも、近くにいる人の話し声が聞こえます。鼓膜がなくなって全然聞こえなかった耳をいやしてくださった創造主なる神様に、すべての感謝と栄光をおさげします。



ウィリー・ミラベノ執事(70歳、フィリピン・カビテ万民教会)

「多発神経炎で全身が固まっていたましたが正常になりました！」



2018年12月初め、朝方、突然全身が固まる症状が現れました。首を回すことも、話をすることもできなくて、指一本動かせなかったのです。隣人の助けで病院に運ばれましたが、残念なことに治療のために何もできない、退院しなさいと言われてきました。

医学でもどうすることもできない絶望的な状況で、12月13日、担任のチョ・ジャンニョン牧師先生が家に来られて、堂会長イ・ジェロク牧師先生に祈りを受けた神の力のハンカチ(使19:11~12)で祈っていただきました。

すると驚くべきことが起きました。固まっていた体が柔らかくなって、首が回って、舌が解けて話せるようになったのです。指と腕も動いて、腕を首の線まで持ち上げられました。けれど、相変わらず下半身は全然動き

ませんでした。

私は「なぜこんなことが起こったのだろう」と、過去の生き方を省みるようになりました。2014年9月、教会に登録した後、深刻な関節炎がいやされて、家庭もなごやかになつたし、使命を受けて忠実だったこともあったのに、いつの頃からかその熱心と聖霊の満たしがなくなっていたのです。祈りをやめて、後には主日まで守らないで、不平と不満で平和を壊していたことが思い出されて、涙で悔い改めました。

2019年1月9日、韓国からイ・ミギョン牧師先生が来られて教会を訪問中だという話を聞いて、働き人たちに助けられて車椅子に乗って水曜礼拝に参加しました。この時、イ・ミギョン先生が講壇で神の力のハンカチで全体に祈ってくださった後、奇跡のようなことが起きました。麻痺していた脚

に力が与えられると、立ち上がって少しずつ歩いて動くようになったのです。ハレルヤ!

この日、私は人に助けられないで一人で歩いて家に帰りました。夢のようでした。その後、体は回復し続けて、今は各種の礼拝とダニエル徹夜祈禱会にも参加しています。全身が固まって死んだようだった私を御力で生かしてくださった父なる神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。

***多発神経炎: いろいろな原因によって末梢神経が同時に対称的に障害される病気。症状は、四肢の末端から始まる筋力低下と感覚鈍麻だが、そのほか発汗異常、起立性低血圧、膀胱・直腸障害など自律神経の麻痺を示す場合もある(日本大百科全書参照)。**

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライズ米須301号
T) 098-914-3027